

## 会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	平成23年度 第3回入間市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	平成24年 2月 7日 (火) 午後1時30分開会・午後3時閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 B棟5階 第2委員会室
議 長 氏 名	㊟枝窪 邦茂
出席委員(者)氏名	㊟枝窪 邦茂 ㊟東 明 鹿島 英明 田代 甲平 大館 勝治 渡邊 久芳 法隆 康一 大河内 隆敏 柳澤 かほる
欠席委員(者)氏名	林 宏一
説明者の職氏名	主幹 田代 高久・主査 大久保 卓
会 議 次 第 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">公開</span> ・非公開の別)	<p>1 開 会</p> <p>2 挨 拶 文化財保護審議委員会委員長 生涯学習部部長</p> <p>3 議 題 諮問の検討について 入間市新規指定文化財について ・明王寺の「猷春の部発句」俳句額 ・歌舞伎「九変化扁額」</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人

配 付 資 料	平成23年度第3回入間市文化財保護審議委員会（資料）
事 務 局 職 員 職 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習部部长 吉澤 均</li> <li>・生涯学習部次長 岩田 武利</li> <li>・生涯学習部参事兼生涯学習課長 神崎 幸子</li> <li>・同課生涯学習文化財担当主幹 田代 高久</li> <li>・同主査 大久保 卓                      ・同主事補 関矢 朝子</li> </ul>
会議録作成方法	筆 記

## 会 議 録 ( 2 )

議事の概要 (経過) ・決定事項	
議 題	<p>3 議 題</p> <p>(1) 諮問の検討について</p> <p>入間市新規指定文化財について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・明王寺の「猷春の部発句」俳句額</li><li>・歌舞伎「九変化扁額」</li></ul>
決 定 事 項	<p>3 議題</p> <p>(1) 諮問の検討について</p> <p>入間市新規指定文化財について</p> <p>前回の審議委員会で審議された内容をもとに事務局で修正した理由書について各委員から意見を聴取した。今回の意見をもとに理由書を修正し、後日教育委員会へ市指定文化財に同意する旨の答申をすることになった。</p>

## 会 議 録 ( 3 )

発言者	発言内容
	<p>3 議 題</p> <p>(1) 諮問の検討について</p> <p>前回の審議委員会で意見のあった箇所を中心に、事務局で修正した理由書をそれぞれ読み上げた。</p> <p>明王寺の「献春の部発句」俳句額について</p>
委員	一行目の「明王寺には……」の文章ですと俳句額が2面あると読めてしまうので、次のように「明王寺には、「献春の部発句」と題された、寛政8年（1796）2月28日紀年銘の、市内で2番目に古い奉納俳句額がある。」と順番を入れ替えてみたらどうでしょう。
一同	異議なし
委員	前回の理由書には所在地に大字が記載されていませんでしたが、今回の理由書には記載がされているのはなぜですか。
事務局	前回の理由書は誤りで、今回の理由書の表記が正しいものになります。
委員	6行目に記載されている「合わせて18句」というのはどれを指していますか。
事務局	添付の資料をご覧いただきたいのですが、丑沢兎洲の「来よし住みよしこれより奥は華の山……」という句は、俳句ではなく、前置きの文章ということになるので、これを含まない18句ということにしてあります。
委員	前置きの文章と分らせるために、前の句と後の句との間をそれぞれ一行あけたらどうですか。
事務局	分かりやすくするために、一行あけます。
委員	8行目の文章で「加舎白雄は、江戸蕉門の佐久間柳居や白井鳥酔に師事し」とありますが、佐久間柳居は白井鳥酔の師で、加舎白雄は孫弟子にあたりますが柳居からは直接教えてもらっていなかったはずですが。
事務局	「佐久間柳居」を削除して、「加舎白雄は、江戸蕉門の白井鳥酔に師事し……」と訂正します。
委員	10行目の「白雄の俳諧は春秋庵俳諧と言われている」とありますが、

会 議 録 ( 4 )

発言者	発言内容
	「言う」というのは最近ではひらがなで表記することが一般的です。ひらがなに直した方がいいのではないのでしょうか。
事務局	「白雄の俳諧は春秋庵俳諧といわれている」と「言う」をひらがなとします。
委員	14行目の「前段には、」の「、(読点)」は取ったほうが読みやすいです。
事務局	読点を削除します。
委員長	明王寺の「猷春の部発句」俳句額の理由書については今までの内容でいかがですか。
一同	異議なし  (歌舞伎)「九変化扁額」について
委員	名称の(歌舞伎)「九変化扁額」ですが、括弧書きはやめた方がいいと思うので、歌舞伎「九変化扁額」にした方がいいです。
事務局	括弧を削除し、歌舞伎「九変化扁額」に修正します。
委員	管理者については、正式名とは異なっているようです。
事務局	以前の指定書の書き方に合わせていただきます。
委員	扁額の大きさが資料だと横138.5cmとなっていますが、理由書は138cmとなっています。どちらが正しいのでしょうか。また、厚みは何cmになりますか。俳句額は厚みも入れているので、扁額も厚みを入れた方がいいと思います。
事務局	後日、実寸を調べなおして正しいものを記載します。 (横は139.5cm、厚みは4cmが正しいと確認済み) 答申の際に参考として資料もつけるので、理由書とともに資料も正しく訂正したものを添付します。
委員	7行目の「5代目の清満(2代目。天明7年(1787)～明治元年(1869))」となっていますが、鳥居派の5代目で清満の2代目となると分かりづらいので、「2代目」は削除した方がいいと思います。
事務局	生没年でも特定できますので、5代目の清満(天明7年(1787)～明治元年……)とします。
委員	清満の生没年なのですが、明治元年(1869)というのは1868年の間違いではないですか。

## 会 議 録 ( 5 )

発言者	発 言 内 容
事務局	調べてみたところ、清満は明治元年11月21日に亡くっており、西暦に直すと1869年1月3日になります。明治元年だけだと西暦に直した際に分かりづらいので、年号だけではなく日付も記載することとし、天明7年(1787)～明治元年11月21日(1869年1月3日)とします。
委員	9行目の「上段に丁稚、傾城、……」となっていますが、「、(読点)」だと分かりづらいので「・(中黒)」にしたほうがいいと思います。
委員	「文使」の読み仮名は「ふづかい」ではなく「ふみづかい」が正しいです。また、「娘」の読み仮名は必要ないと思うので削除したほうがいいと思います。
事務局	読みやすいように「上段に丁稚・傾城・……」と直し、読み仮名はご指摘どおり修正します。
委員長	歌舞伎「九変化扁額」の理由書については、このような内容でどうでしょうか。
事務局	異議なし
委員長	事務局から今後の流れを説明してください。
事務局	今回審議していただいた理由書を付して、後日委員長・副委員長から教育長へ答申を行っていただきます。その後は、3月の定例教育委員会に今回の2件の文化財を市指定文化財に指定するための議案を提出します。
委員長	分かりました。他にありますか。
事務局	ありません。

事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議 長 の 署 名 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_